

ウイルス性肝炎について 知っていますか？

～安心して働き続けるために**早期発見・早期治療**が大切です～

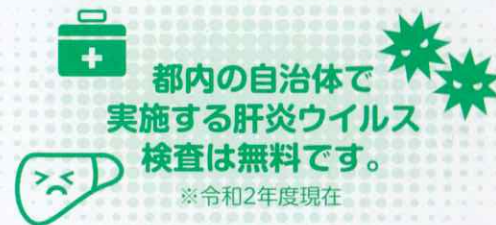
国内のがんによる死亡者数のうち、**肝臓がん**は第5位で、
年間約3万人の方が亡くなられています。

その肝臓がんの原因の約8割はB型・C型肝炎ウイルスが関連すると言われています。

1 肝炎ウイルス検査を受けたことがありますか？

感染しているかどうかは、「**肝炎ウイルス検査**」を受けない限りわかりません。これまで検査を受けたことがない方は、早めに検査を受けましょう（検査は採血のみです。）。

職場の健康診断に肝炎ウイルス検査が含まれていなくても、お住まいの区市町村や保健所で受けられます。

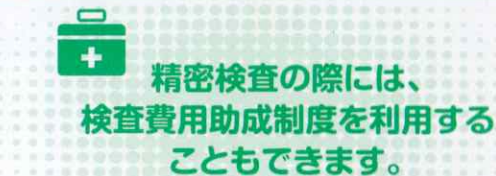


2 陽性とわかって、そのままにいませんか？

B型・C型肝炎ウイルスに感染していても、**自覚症状はほとんどありません**（一部の方に全身のだるさや食欲低下などが生じることがあります。）。

気づかないうちに肝臓の炎症が進み、慢性肝炎となり、**肝硬変や肝臓がん**に進行する場合があります。

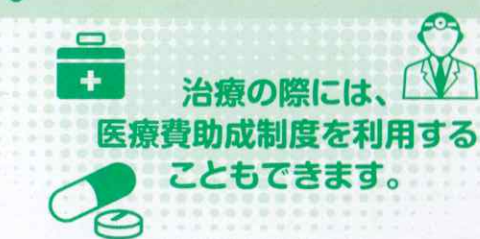
検査の結果、陽性とわかったら、必ず**肝臓専門医**を受診し、精密検査を受けましょう。



3 早めに**肝臓専門医**を受診しましょう。

B型・C型ウイルス性肝炎は、新しい治療法が次々と承認されており、**治療効果が飛躍的に高まっています**。早期の受診によってほとんど仕事への支障なく、治療することが可能になりました。

最初に「**東京都肝臓専門医療機関**」を受診しましょう。



4 肝疾患相談センターへ相談することもできます。

都内2箇所の肝疾患相談センターでは、肝炎患者の方、御家族の方、医療関係者の方などからの肝疾患に関する相談を受け付けています。医師、看護師等の専門職も対応しています。

肝疾患相談センター

国家公務員共済組合連合会虎の門病院 電話 03-3560-7672
武蔵野赤十字病院 電話 0422-32-3135

- 受付時間 9時30分～16時（土日、祝日、12月29日～1月3日を除く。）
- 相談方法 電話又は面談（面談は予約制です。） ※電話相談・面談ともに無料です。



職場に感染している方がいたら？

B型・C型肝炎ウイルスは、**血液・体液**によって感染します。咳、握手、食器の共有など**通常の社会生活では感染しません**。

（けがで出血している場合などは、感染のリスクが高まりますので注意が必要です。）

肝炎ウイルスに感染している同僚と…

隣同士で話をしたり、握手をしたら感染しますか？

懇親会で同じ皿をつついたら感染しますか？

職場旅行で一緒に入浴したら感染しますか？

すべて、**答えはNO**です。



治療や療養には周囲の方の理解が必要です。
あたたかい支援をお願いします。

管理監督者のみなさまへお願い

全ての従業員が、肝炎ウイルス検査を受けられるよう、働きかけてください。

●職場の健康診断に肝炎ウイルス検査が含まれていない場合は、お住まいの区市町村や保健所で受けられることを従業員のみなさまに周知してください。

肝炎ウイルス検査で感染を早期発見し、早期治療することは、従業員の社会生活への影響も最小限に抑えることができ、また、医療費を抑えることもできます。

従業員が陽性だとわかったら／治療が必要になったら…

- 就労しながら治療できるよう、配慮してください。
- 周囲に話すかどうかは、本人の意思を尊重してください。
- 従業員のみなさまに、ウイルス性肝炎に関する正しい知識を周知してください。

**みなさまが安心して働くことができる
職場づくりをお願いします。**



お問合せ先

●肝炎ウイルス検査について

東京都福祉保健局保健政策部健康推進課電話 電話 03-5320-4363

肝炎ウイルス検診を受けましょう



●治療や医療費助成制度、東京都肝臓専門医療機関などについて

東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課 電話 03-5320-4476

東京都 ウイルス肝炎対策



発行元 東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課 電話03-5320-4476

令和3年1月発行 登録番号(2)226

※掲示・回覧等により職場でご活用ください。

